泌尿器科

診療科動画　診療科 HP

１．スタッフ

診療科長（教授）神波（かんば）　大己（ともみ）
講師１名、診療講師１名
助教３名、特任助教２名
医員 16 名（内、非常勤２名）
【協力関係部局】
腎・血液浄化療法センター
医員１名（非常勤）

２．診療科の特徴、診療内容

腎・尿路（腎臓、尿管、膀胱、尿道）と男性生殖器（前立腺、精巣、陰茎）の悪性腫瘍を診断治療の柱とし、病態の進行に応じた適切な治療法を確立している。癌の早期発見に努めるとともに、癌種やその病態に応じて手術療法・化学療法・放射線療法・免疫療法などの治療法を組み合わせて最善の治療を目指している。特に患者様の QOL を重視し、低侵襲治療である腹腔鏡手術や内視鏡手術を積極的に取り入れ、前立腺癌と小径腎癌の治療においては、ロボット支援腹腔鏡下手術を精力的に行っている。その他にも、副腎腫瘍（内分泌疾患）や前立腺肥大症、腹圧性尿失禁や小児の停留精巣に対する外科的治療も行っている。尿路結石症の治療では、レーザーを用いた内視鏡手術を行っている。また、腎・血液浄化療法センターと協力して、人工透析療法をはじめ、ブラッドアクセス、腎移植医療も行っている。

３．診療体制

〇外来診療体制

- 火曜日　神波 教授、村上 助教、倉橋 助教、久高 医員
- 木曜日　矢津田 講師、元島 助教、穴見 特任助教
- 金曜日　西澤 特任助教、原 医員、排尿機能外来（福島 医員・非常勤）、女性泌尿器科外来（鍬田 医員・非常勤）

〇病棟診療体制

- 月曜：手術
- 火曜：手術報告、泌尿器科総回診、外来、画像診断・泌尿器科合同カンファレンス、泌尿器科症例検討カンファレンス、医局会
- 水曜：手術、病理診断・泌尿器科合同カンファレンス
- 木曜：外来
- 金曜：手術、外来

４．診療実績（令和６年度）

〇手術の件数（総数：501 例）

ロボット支援腹腔鏡下前立腺摘出術：42 例
ロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術：50 例
ロボット支援腹腔鏡下膀胱全摘除術：19 例
ロボット支援腹腔鏡下腎尿管全摘除術：22 例
ロボット支援腹腔鏡下根治的腎摘除術：８例
ロボット支援腹腔鏡下副腎摘除術：７例
ロボット支援腹腔鏡下腎盂形成術：３例
腹腔鏡下腎摘出術：16 例
腹腔鏡下副腎摘除術：23 例
腹腔鏡下尿膜管摘除術：２例
その他の腹腔鏡手術：10 例
開腹腎摘除術：５例
開腹腎部分切除術：１例
開腹尿管膀胱新吻合術：２例
開腹後腹膜腫瘍摘出術：２例
その他の開腹手術：２例
TUR-BT（biopsy を含む）：113 例
TUR-P：３例
PNL・TUL・ECIRS：34 例
TVM：８例
前立腺生検：63 例
尿管鏡下生検：22 例
その他、局所手術：46 例

５．高度先進的な医療の取組

（先進的治療）

現在のところ、申請は行っていない。

６．臨床試験・治験の取組

（多施設共同臨床試験・臨床研究）

- JCOG1019 「High grade T1 膀胱癌の second TUR 後 T0 患者に対する BCG 膀胱内注入療法と無治療経過観察のランダム化第Ⅲ相試験」
- JCOG1403 「上部尿路癌術後の膀胱内再発予防における術直後単回ピラルビシン膀胱内注入療法のランダム化比較第 III 相試験」
- JCOG1403A1 「上部尿路癌術後の膀胱内再発予防における術直後単回ピラルビシン膀胱内注入療法のランダム化比較第Ⅲ相試験」の附随研究
- JCOG1905 「進行性腎細胞癌に対する PD-1 経路阻害剤の継続と休止に関するランダム化比較第 III 相試験」
- JCOG1905 附随研究「進行性腎細胞癌に対する PD-1 経路阻害薬の継続と休止に関するランダム化比較第 III 相試験」PD-1 経路阻害薬の休薬に関する血液検体による効果予測因子および予後因子に関する探索的研究
- JCOG2011：High volume 転移を認める内分泌療法感受性前立腺癌患者に対する高アンドロゲン療法への局所放射線療法併用の意義を検証するランダム化第Ⅲ相試験
- JCOG2011A1：High volume 転移を認める内分泌療法感受性前立腺癌患者に対する高アンドロゲン療法への局所放射線療法併用の PRO-QOL 観察研究
- JCOG－バイオバンク・ジャパン連携バイオバンク
- 早期前立腺癌に対する PSA 監視療法における[-2]proPSA の有用性の検討-Prostate Cancer Research International：Active Surveillance（PRIAS）での国際共同比較- PRIAS-JAPAN 付随研究 Innovation Study of PRIAS-JAPAN（PRIAS-JAPAN IS）
- 低リスク及び中間リスク前立腺がんに対する監視療法：多機関共同前向き研究（PRIAS-JAPAN）
- 膀胱癌に対する根治的膀胱全摘除術の包括的調査：多機関共同観察研究
- 悪性腫瘍（非小細胞肺癌・胃癌・食道癌・腎細胞癌・尿路上皮癌・悪性黒色腫）に対する抗 PD-1/L1 抗体を含む治療法の新規効果予測因子を用いた前向き観察研究
- 骨転移を有する去勢抵抗性前立腺癌に対するラジウム-223 治療の多施設共同前向き観察研究（KYUCOG-1901）
- 日本人腎細胞癌患者における PD-L1 発現状況に関する多施設共同レトロスペクティブ研究
- 泌尿器腫瘍（腎細胞癌・尿路上皮癌）に対する抗 PD-1 抗体の新規効果予測因子を用いた前向き観察研究
- 日本語版 Bladder Cancer Index（BCI）を用いた膀胱がん術前後の QOL を評価する多施設共同前向き観察研究
- 虚勢抵抗性前立腺癌におけるドセタキセルからカバジタキセルへの切り替え時期と治療効果に関する多施設後ろ向き研究
- 免疫チェックポイント阻害剤の治療効果・毒性に関するバイオマーカーの探索研究
- 去勢抵抗性前立腺癌に対する抗がん化学療法におけるドセタキセルからカバジタキセルへ早期変更の有用性の検討 Early COnversion to CABazitaxel（ECOCAB）

・ ロボット支援腹腔鏡下前立腺前摘除術（RARP）の治療実態調査
・ 前立腺がんに対するロボット支援根治的前立腺全摘術の多機関共同観察研究
・ pT1aNOM0 腎癌の転移再発に関する観察研究
・ 精巣癌に特異的な質問票 EORTC QLQ-TC26 日本語版を用いた縦断的多施設共同研究
・ 外来における免疫チェックポイント阻害薬を使用した患者の免疫関連有害事象(irAE)の発症と患者対応の検討
・ がん複合免疫療法の治療効果と副作用の発現に関する観察研究
・ 腎細胞がんにおける Angiopoietin-2 を中心とした血管新生関連分子と免疫環境に関する後方視的研究
・ 転移性腎細胞がん患者を対象とした I-O based combination therapy 後の TKI 治療の有効性と安全性に関する多施設共同後方視的観察研究
・ 転移性粘液管状紡錘細胞癌に対する薬物治療の効果ー多施設共同研究
・ 未治療日本人転移性腎細胞癌患者を対象とした カボザンチニブ・ニボルマブ併用療法の 有効性と安全性に関する前向き観察研究
・ 相同組換え修復関連遺伝子変異を有する去勢抵抗性前立腺癌に対する治療実態と治療成績（多機関共同前向き観察研究）
・ 切除不能尿路上皮癌の治療に関する多機関共同観察研究
・ 排尿筋低活動の非侵襲的診断基準に関する臨床研究
・ 九州沖縄地区における陰茎癌の実態調査
・ 九州沖縄地区における副腎癌の実態調査
・ 九州沖縄地区における尿路変向の実態調査
・ 熊本大学病院における泌尿器癌ならびに泌尿器腫瘍疾患の観察研究
・ 熊本大学病院における排尿障害の観察研究
・ 熊本大学病院における尿路結石の観察研究
・ 前立腺肉腫の確定診断に向けての遺伝子検査
・ マスサイトメーターを用いた超多次元解析でのバイオマーカー探索
・ 転移性粘液管状紡錘細胞癌に対する薬物治療の効果ー多施設共同研究
・ 腎細胞癌における C 反応性蛋白の予後因子としての意義についての研究
・ 「未治療日本人転移性腎細胞癌患者を対象としたカボザンチニブ・ニボルマブ併用療法の有効性と安全性に関する前向き観察研究」附随研究:カボザンチニブ・ニボルマブ併用療法の効果予測バイマーカーの探索（JACUMET-TR 試験）
・ up-front 療法後に Ra-223 投与を受けた転移性去勢抵抗性前立腺がん症例に対する後ろ向き研究
・ 日本人腎癌の包括的なゲノム解析研究
・ 進行性又は転移性の日本人尿路上皮癌を対象にしたアベルマブ維持療法及びその後の治療に対する多施設共同後向き観察研究
・ 第 8 回尿路結石症全国疫学調査 Japan Urolithiasis Survey, 8th Edition（JUS-8）
・ 特発性後腹膜線維症と IgG4 関連後腹膜線維症の臨床症状の差異を明らかにするための多施設共同後方視的臨床研究

（治験）
・ プラチナ製剤併用化学療法歴を有する局所進行又は転移性尿路上皮膀胱癌患者を対象に、MPDL3280A（抗 PD-L1 抗体）の有効性及び安全性を化学療法と比較する、第Ⅲ相非盲検多施設共同ランダム化試験
・ 非転移性（M0）去勢抵抗性前立腺癌男性患者を対象にした、ARN-509 の多施設、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照、第Ⅲ相試験
・ プラチナ製剤による治療後に進行又は再発した転移性又は切除不能な尿路上皮がん患者を対象としたニボルマブ単剤の第Ⅱ相試験
・ 未治療の進行腎細胞癌患者を対象とした ATEZOLIZUMAB（抗 PD-L1 抗体）とベバシズマブの併用をスニチニブと比較する第Ⅲ相非盲検ランダム化試験
・ 切除不能な局所進行又は転移性尿路上皮癌患者を対象に、一次治療としてのデュルマルマブ＋標準化学療法及びデュルマルマブ＋tremelimumab＋標準化学療法と標準化学療法単独とを比較する第Ⅲ相国際多施設共同無作為化非盲検比較対照試験
・ AMY109 と抗悪性腫瘍薬の併用投与による進行固形癌患者を対象とした第Ⅰ相臨床試験
・ 進行淡明細胞型腎細胞癌患者を対象に一次治療としてペムブロリズマブ（MK-3475）と MK-6482（belzutifan）及びレンバチニブ（MK-7902）の併用療法又は MK-1308A とレンバチニブの併用療法の有効性及び安全性をペムブロリズマブ及びレンバチニブと比較する第Ⅲ相無作為化非盲検試験
・ 淡明細胞型腎細胞癌患者を対象に、腎摘除術後の術後補助療法として MK-6482 と MK-3475 の併用療法の有効性及び安全性をプラセボと MK-3475 の併用療法と比較する無作為化、多施設共同、二重盲検、第Ⅲ相試験（MK-6482-022）
・ PSMAddition：転移性ホルモン感受性前立腺がん（mHSPC）の成人男性患者を対象に 177Lu-PSMA-617 と標準治療の併用を標準治療単独と比較する国際、前向き、非盲検、ランダム化、第 III 相試験（CAAA617C12301 試験）

7．地域医療への貢献
・ 日本泌尿器科学会熊本地方会
・ 熊本前立腺癌研究会(熊本県医師会、熊本市医師会協賛で前立腺癌検診認定協議も行う。)
・ 天草地区(天草地域医療センター)、玉名地区(くまもと県北病院)、水俣地区(水俣市立総合医療センター)、 八代地区(熊本総合病院、 熊本労災病院)、人吉地区(人吉医療センター）、阿蘇地区（阿蘇医療センター）への常勤医師の派遣
・ 阿蘇地区(小国公立病院、阿蘇温泉病院)、荒尾地区(荒尾市立有明医療センター)、山鹿地区(山鹿市民医療センター)、人吉地区(球磨郡公立多良木病院)、 宮崎県地区(高千穂町国民健康保険病院)、福岡県地区（社会保険大牟田天領病院）への非常勤医師の派遣

8．医療人教育の取組
卒後臨床研修プログラムは日本泌尿器科学会認定の泌尿器科専門医取得条件を満たしており、６年次に泌尿器科専門医取得の資格を得ることができ、日本泌尿器内視鏡学会泌尿器腹腔鏡技術認定医取得の資格も得ることができる。また、日本透析医学会専門医制度認定施設となっており、日本透析医学会専門医取得の資格を得ることができる。その他、日本小児泌尿器科学会認定医制度、日本臨床腎移植学会腎移植認定医制度、日本性機能学会専門医制度、日本内分泌外科学会専門医制度などの資格取得が可能である。

9． 研究活動
①転座型腎癌の臨床的解析及び発癌機構の解明
②固形癌に対する分子標的療法と免疫療法の併用の意義に関する基礎的臨床的検討
③泌尿器科悪性腫瘍に対する免疫細胞療法についての検討
④泌尿器悪性腫瘍に対する免疫チェックポイント阻害薬使用時の生体機能の解析
⑤泌尿器悪性腫瘍に対する免疫チェックポイント阻害薬の治療効果予測および免疫関連有害事象に関わるバイオマーカーの検索
⑥前立腺癌の去勢抵抗性メカニズムの解明
⑦超高感度解析技術を用いた腎癌の新規尿中バイオマーカーの開発
⑧泌尿器科疾患に対する腹腔鏡手術に関する研究
⑨泌尿器科疾患に対するロボット支援手術に関する研究
⑩リンパ節抗原提示細胞に着目した新たながん免疫療法の開発